

平成30年度包括外部監査結果に対する措置状況（市長事務局）

監査テーマ:防災に関する事務事業の執行について

令和3年10月末現在

指摘区分		報告書 ページ	所管課名	事業名	指摘事項名	指摘概要	措置の実施状況	措置 状況
結果	意見							
	5	45	防災危機管理課	八戸市地域防災計画	コンピュータシステム等災害予防について	市のコンピュータシステムの中でも最優先で復旧する必要があるものを選んで優先復旧ができるような保守契約としておく必要がある。また、同時に紙媒体で所有しておかなければならない最低限のデータなども検討しておく必要がある。	当市の主要なシステム保守業者に対し優先保守が出来るか問い合わせたところ、現在には行っていないとの回答であったため、保守契約については現状維持とする。今後は、契約計画時に優先保守の有無について確認することとする。 紙媒体でのデータの所有については、保管場所やデータの最新化等多くの課題があるため全庁での実施は難しいと考える。 なお、主要業務(住民記録・印鑑・戸籍・税)については無停電電源装置及び自家発電で稼働するダウンリカバリシステム(バックアップシステム)を導入しており、業務継続は可能である。	措置済
	2	57	市民連携推進課	外国人住民への緊急情報配信	「外国人住民用ほっとスルメール」における適時性の確保について	「外国人住民用ほっとスルメール」は緊急情報の発信手段であるため、業務時間外における対応体制を構築し、適時性をより高める方策を検討する必要がある。	適時性を高めるため、避難情報については引き続きほっとスルメールを活用して速やかに配信することとし、その他の情報については多言語かつ即時に配信されるサイト・アプリ等を市ホームページやチラシで周知した。	措置済
	12	58	市民連携推進課	外国人住民への緊急情報配信	外国人観光客に対する緊急情報配信策等の検討について	災害時における外国人観光客への避難所誘導等の対応策を明確にし、国の「Safety tips」や日本気象協会の「全国避難所ガイド」等とのすみ分けや機能分担を行いながら、外国人観光客に対する市独自の緊急情報として配信する内容とその配信策を検討する必要がある。	令和3年度から、外国人観光客向けプッシュ型緊急情報配信アプリ「Safety tips」などの災害時に役立つ多言語アプリ等、外国人向けの防災情報を集約し、市ホームページへ掲載した。 また、外国人観光客が多数訪れる八戸駅に、上記の市ホームページのQRコードを載せたチラシを掲出し、周知を図った。	措置済
	14	63	市民連携推進課	災害ボランティアネットワーク事業	八戸市総合福祉会館以外の代替施設の検討について	災害等の被害によりボランティアセンターを八戸市総合福祉会館に設置することができない場合の代替施設について、候補となる施設を洗い出し、設置の可否や設置した場合の課題等を検討することが望ましい。	令和2年度に関係部署及び施設関係者と協議・検討を行い、代替施設を八戸市公会堂に決定した。	措置済
	28	93	福祉政策課	福祉避難所の指定・整備(福祉公民館・総合福祉会館の維持管理)	バリアフリー化の対応について	福祉公民館は福祉避難所に指定されているが、避難所として利用される予定の部屋の中に、バリアフリー化が十分でない(入口に段差あり)部屋がある。	令和2年度に、段差解消用スロープを設置した。	措置済